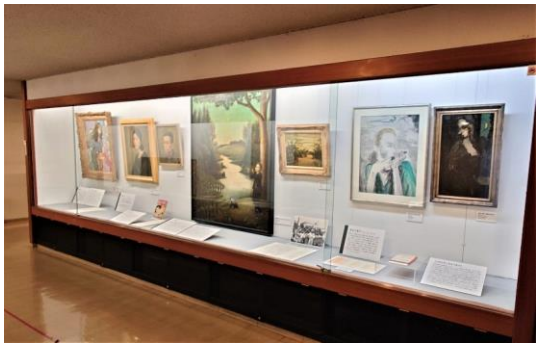
Yokohama Arts Foundation

令　和　５　年　１　月　１９　日
（公財）横浜市芸術文化振興財団
大　佛　次　郎　記　念　館

文学館で美術鑑賞を。

テーマ展示「大佛次郎　美術の楽しみ　―大佛次郎記念館コレクションより」



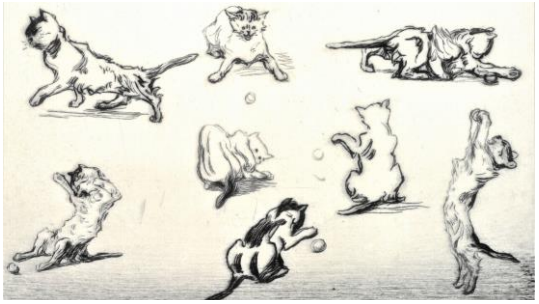
展示の様子

大佛次郎（おさらぎじろう）（1897～1973）は、「鞍馬天狗」シリーズを発表した 1924 年以降、新聞・雑誌の連載を抱える人気作家となりました。挿絵を担当する画家たちと親しくなり、彼らの作品や、古今の美術作品をいつの頃からか手元に置き、楽しむようになりました。

本展では、当館所蔵の日本画・洋画を、大佛次郎との関係性に焦点を当てて紹介します。

尾形光琳画≪竹梅図屏風≫は、複製品の展示ですが、オリジナルはかつて大佛次郎が所蔵していました。大佛夫人がお茶をたしなんでいたこともあり、風炉先屏風として使われていました。（オリジナルは重要文化財、東京国立博物館所蔵。東京国立博物館にて2月19日まで展示中）

大佛次郎夫人と尾形光琳画《竹梅図屏風》



ポール・ルヌアール《伸び上がる猫》（部分）1907 年
※修復作品を３期に分けて展示、本作は 2／28～4／16 展示。

また、NPO 法人 美術保存修復センター横浜の「絵画修復プロジェクト」により、当館所蔵銅版画５点（いずれもフランスの画家ポール・ルヌアールの作）が蘇りました。作品展示と同時に「画家の思い継承を目指して――時を超えて伝える――絵画修復プロジェクト」を紹介します。

【展示予定画家】日本画　長谷川路可、佐多芳郎(2/28～)／洋画　長谷川春子、佐藤敬、今泉俊次など

展示場所 展示期間	大佛次郎記念館　２階ギャラリーで開催中 2023年4月16日（日）まで	料金	入館料　大人（高校生以上）200円 中学生以下　無料 ※横浜市内在住の65歳以上の方は100円 ※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
同時開催	「大佛次郎×ねこ写真展2023」		
開館時間 休館日	～3月　10:00～17:00（入館は16:30まで） 4月～　10:00～17:30（入館は17:00まで） 月曜日（祝休日の場合は翌平日）		

情報掲載をよろしくお願い申し上げます。記念館取材及び広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館　【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】
館長：福富潤子　広報担当:大房奈央子　展示担当:金城瑠以
TEL：045-622-5002　mail：osaragi@yaf.or.jp　URL：http://osaragi.yafjp.org

美術の楽しみ

大佛次郎（おさらぎじろう）

―大佛次郎記念館コレクションより―

2023
1/6 FRI → 4/16 SUN

開館時間 1-3月10：00 ～ 17：00（最終入館16：30）
4月10：00 ～ 17：30（最終入館17：00）

休館日…毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）

観覧料：一般／200円（20名以上の団体は150円）、**中学生以下／無料**
＊横浜市内在住の65歳以上の方は100円（濱ともカード等をご提示ください）。
＊障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。
＊毎月23日（市民の読書の日）と第2、第4土曜日は高校生以下無料。

※新型コロナウィルス感染症の拡大状況によっては、予定を変更する場合がございます。

大佛次郎夫人と尾形光琳《竹梅図屏風》1960年頃

長谷川（はせがわ） 路可（ろか）　1929年 第九回新興大和絵会出品作 ＊4期に分けて1点ずつ展示

《春苑》1/6（金）～1/29（日）

《虹》1/31（火）～2/26（日）

《時雨》2/28（火）～3/19（日）

《浜風》3/21（火）～4/16（日）

大佛次郎記念館（公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団）
The Osaragi Jiro Memorial Museum
〒231-0862 横浜市中区山手町113（港の見える丘公園内）
TEL：045-622-5002 FAX：045-622-5071 http://osaragi.yafjp.org

協賛　株式会社浦辺設計／大佛次郎研究会／株式会社ポンパドウル／横浜高速鉄道株式会社

大佛次郎（おさらぎじろう） 美術の楽しみ

— 大佛次郎記念館 コレクションより —

2023年
1月6日（金）～4月16日（日）
※会期中に資料保護のため展示替えを行います。

展｜示｜概｜要

作家の大佛次郎（1897~1973）は、東京帝国大学在学中から美術に高い関心を寄せていました。1924年（大正13）、「鞍馬天狗」シリーズの連載で作家活動を本格的に開始すると、挿絵画家たちとの交友が生まれ、彼らの作品や、古今の美術作品を手元に置くようになります。酉子夫人が茶道をたしなんでいたこともあり、風炉先屏風や茶碗もコレクションしましたが、いずれの美術品も生活を楽しむために飾られ、使われていました。

本展では、大佛次郎との関係性に焦点を当て、当館所蔵の美術品を紹介します。併せて、「絵画修復プロジェクト」によって蘇った、19世紀末から20世紀初めに活躍したフランスの画家ポール・ルヌアールの銅版画を展示します。

関連情報

東京国立博物館で、尾形光琳《竹梅図屏風》を展示！

2023年1月2日～2月19日、東京国立博物館 本館8室において、尾形光琳筆の重要文化財《竹梅図屏風》（江戸時代・18世紀）が展示されます。大佛次郎記念館で、屏風をめぐるストーリーを知ってから、どうぞ本物をご覧ください。

第1章「古きも新しきも」

尾形光琳《竹梅図屏風》複製品*
*大佛家旧蔵のオリジナルは、東京国立博物館所蔵

第2章「友情の跡かた」

佐藤敬
《婦人像（佐藤美子）》
1946年

長谷川春子
《笛を吹く男（笛吹き）》
1929年

第3章「ポール・ルヌアール版画と修復」

ポール・ルヌアール
《ラボリ弁護士の一連のしぐさ》
（3点組うち1点）
1899年

関連事業① 愛蔵品コーナー 会場：2F閲覧室前

「大佛次郎と長谷川路可 ―イタリアに咲いた花」
【会期】2022年11月22日（火）～2023年秋
画家・長谷川路可（1897～1967）は、ローマ近郊にある日本聖殉教者教会の聖堂内フレスコ壁画をはじめとして多面的な創作活動を行いました。昭和初期に始まる大佛次郎との交友関係を軸として、当館所蔵の日本画など、作品・資料をパネルで紹介します。

関連事業② トークイベント 会場：2Fサロン

「修復を終えて ～ポール・ルヌアールの銅版画」
貴重な作品を長く保存し、将来に伝えていくために必要な「修復」という作業について考えます。
講師：特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜 内藤朝子氏、稲﨑昌仁氏（表具師〈経新堂稲﨑〉）
【日時】2023年2月25日（土）14：00～約1時間
【参加費】無料（要観覧料、事前予約不要）
＊講演中、会場内は出入り自由となっております。
＊人数が多く密になるような場合には、サロンへの入場を制限する場合があります。

同時開催 会場：1Fロビー

「大佛次郎×ねこ写真展2023」
愛猫家・大佛次郎にちなんだ ねこの写真展。
【日時】2023年1月6日（金）～4月16日（日）

＊各事業の詳細は、当館HPにてご確認ください。

関連事業③ 鑑賞プログラム 会場：大佛次郎記念館 1F会議室

横浜［出前］美術館
「アートでめぐる横浜の街 ―中区編―」
休館中の横浜美術館の教育普及担当による出張講座。中区ゆかりの横浜美術館の所蔵作品をご紹介します！
【日時】2023年1月28日（土）13：30～15：00（13：15開場）
定　員：20名（事前申込、先着順）
対　象：12歳以上／参加費：無料
申込方法：2022年12月12日（月）10：00～横浜美術館ウェブサイトにて申込受付開始
＊定員に達し次第申込を締め切ります。
主　催：横浜美術館　共　催：大佛次郎記念館
お問合せ：横浜美術館 TEL 045-221-0300（10時～18時、月曜～金曜〔祝日を除く〕）

展示解説 事前申し込み制、お申し込みはHPより

【展示解説】
第2土曜日14：00～約30分
1/14*、2/11、3/11、4/8
＊は当館特任研究員、その他の日程は職員による解説。

【たてものミニ・ミニトーク】
第3土曜日14：00～約15分
1/21、2/18、3/18、4/15

次回展示予告
「没後50年記念 テーマ展示Ⅰ おさらぎじろう物語」

アクセス

電車
- みなとみらい線（東急東横線直通）で：元町・中華街駅下車（元町方面改札）
  - ・6番出口（駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由）
  - ・5番出口（谷戸坂経由）
  - いずれも徒歩8分
- JR根岸線で：石川町駅下車（元町口）徒歩20分

バス
- 神奈川中央交通バス11系統（桜木町駅～保土ケ谷駅東口）
- 市営バス20系統（桜木町駅～山手駅）
- 観光スポット周遊バス「あかいくつ」
  いずれも「港の見える丘公園前」で下車、徒歩2分。

大佛次郎記念館（公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団）

〒231-0862 横浜市中区山手町113（港の見える丘公園内） tel：045-622-5002／fax：045-622-5071 http：//osaragi.yafjp.org